

# 2021年度夏の三者総会 議事録

令和3年8月8日(日) オンラインにて実施

## 1 2021年度決算

予算案は承認されました。

## 2 2022年度三者若手夏の学校 三者役職校

2022年度三者若手夏の学校における役職校は以下の通りとなりました。

- 三者センター校：北海道大学
- 三者準備校：大阪大学
- 三者企画校：東京工業大学
- 三者事務局校：筑波大学
- 素粒子パート準備校：九州大学 粒子系理論物理学研究室
- 素粒子パート議事録作成校 (hep-ph)：東京大学 駒場素粒子論研究室
- 原子核パートセンター校：名古屋大学
- 原子核パート準備校：新潟大学

2023年度の役職校については、以下の通りです。

- 三者センター校：名古屋大学に決定
- 三者準備校：九州大学に交渉中

## 3 会議中に挙げられたコメント等

提出された議案書はありませんでしたが、以下に会議中に議論されたことやコメントについてまとめてあります。尚、以下の内容については2021年8月8日時点のものであり、その後の変更等がなされている可能性がありますので、予めご了承ください。

### 3.1 役職の決め方について

- 過去の話し合いで、三者役職校 (主に準備校) はローテーション制を採用した。もしその制度がまだ存続しているならば、今後もこれに沿って役職校を決める。
- ローテーション制→京都大学、名古屋大学、大阪大学、新潟大学、北海道大学、東北大学、九州大学、東京大学

### 3.2 素粒子パートの仕事について

- 講義録等の資料が分かれているが、現在は統合されていない。統合できるならそうした方がよい。
- 講義録作成はなくなったが、講師を呼ぶなどの運営を行う。
- ph と th のそれぞれを担当の 2 校で (縦割りの) 運営する。雑務は適当に分配する。
- オフラインになったときの運営は

### 3.3 今後の夏の学校の形態について

- 2 年前の会議で「実施日数の削減」の意見が挙がった。2022 年度は (オンライン, オフライン問わず) 実施日数を削減する方向性でお願いしたい。
- 削減する場合は講義を削減する。
- オフラインの場合、研究発表しなければ旅費がでない機関もあるため、時間を短くした時に、研究会パートの人数は増えるが発表時間が短くなる可能性がある。口頭発表を減らしてポスター発表を多くするなどの調整が必要になるかもしれないので、このあたりを念頭に運営した方がよい。

### 3.4 オフラインになった場合の開催場所について

- 場所を一か所に固定するという案が、2 年前にあった。
- 今後は場所を固定する方向性で運営する。

### 3.5 講義の YouTube へのアップロードについて

- 素粒子の方は、2019 年から YouTube のアカウントがあり、2019 年度分の講義動画はアップロードされている。
- 今年度は素粒子だけでなく、三者すべてまとめてアップロードした方がよい。その場合のアカウント管理・アップロードはどうするか。
- 動画は TeX 打ちしやすいために、撮っていたが、2019 年度に動画を YouTube 上で共有する流れになった。
- オフラインの場合は、原子核パートは原子核研究でまとめるので、今後は動画を撮らない。素粒子パートだけ動画を撮り、アップロードする。(講師に確認はとる。)

- オンラインの場合は、今年度と同様に三者共通、素粒子、原子核それぞれの講義を録画してアップロードする。
- YouTube アカウントは、特定の個人が所有するのは好ましくないので、センター校、企画校の代表でも管理した方がよい。多数に渡らないように注意する。